

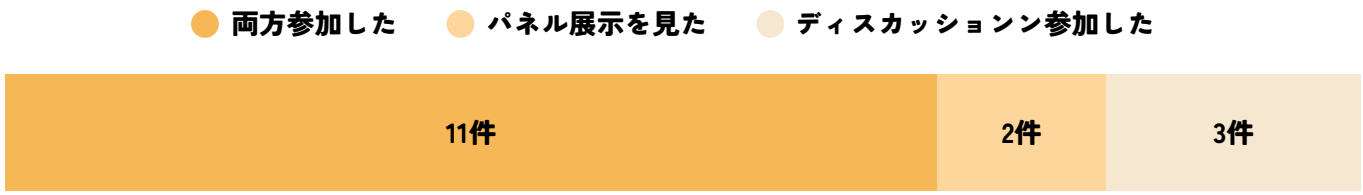
アンケート結果

西荻窪地域　第６回
（仮称）デザイン会議　全体会

（参加者数　51名　　回答数　16名）



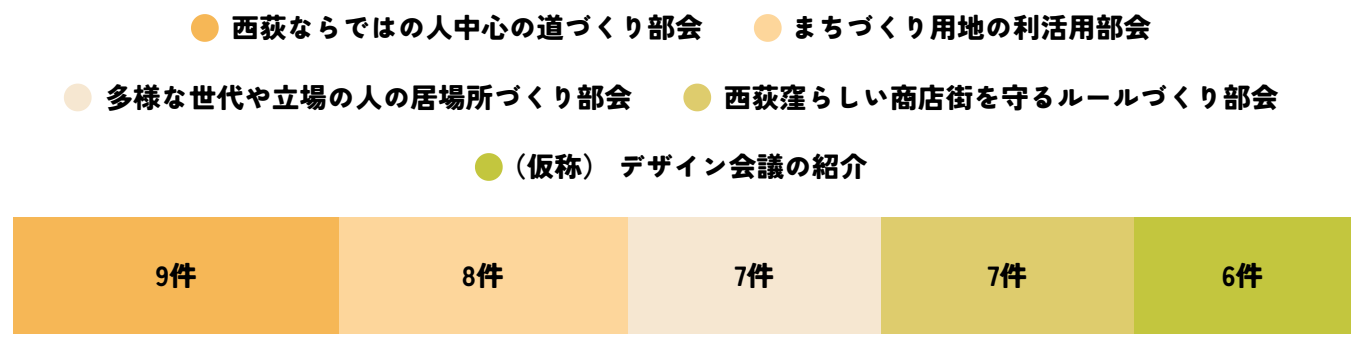
1 本日はどのプログラムに参加しましたか。（複数選択可）



2 パネル展示の内容はいかがでしたか。（※展示を見た方のみ）



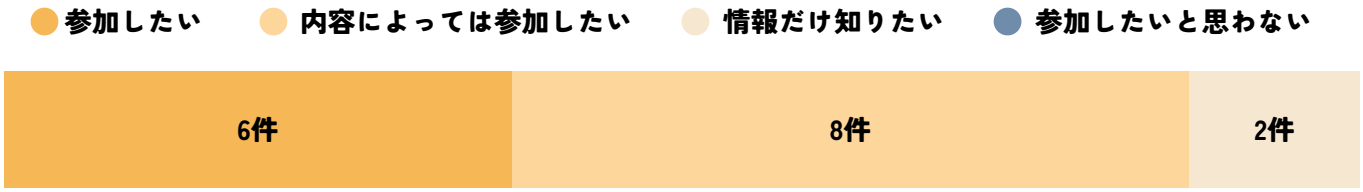
3 特に興味を持った展示はどれですか。（複数選択可）



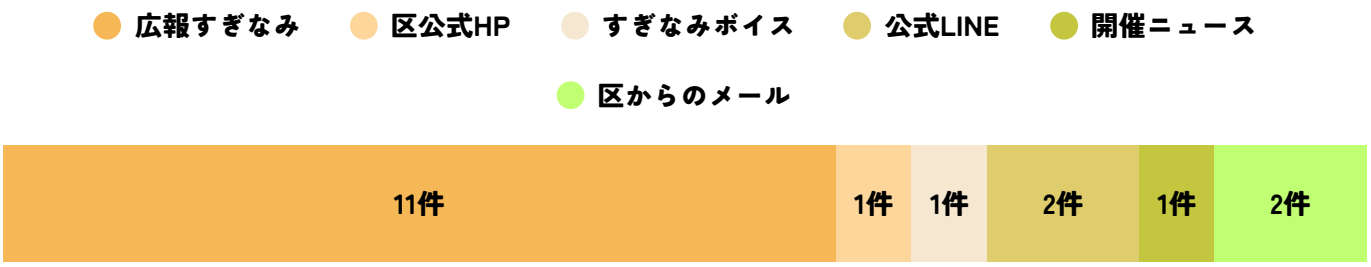
4 ディスカッションの内容はいかがでしたか。



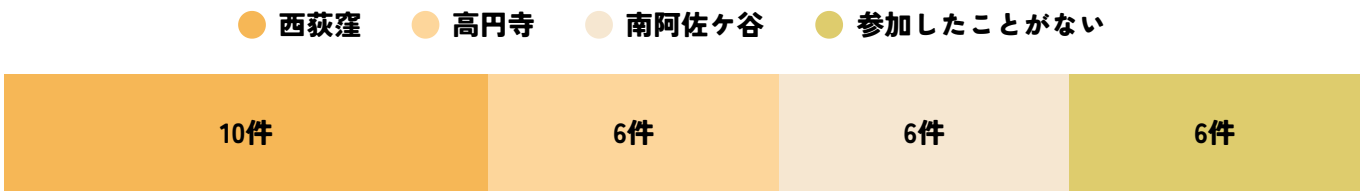
5 今後もこのような会に参加したいと思いますか。



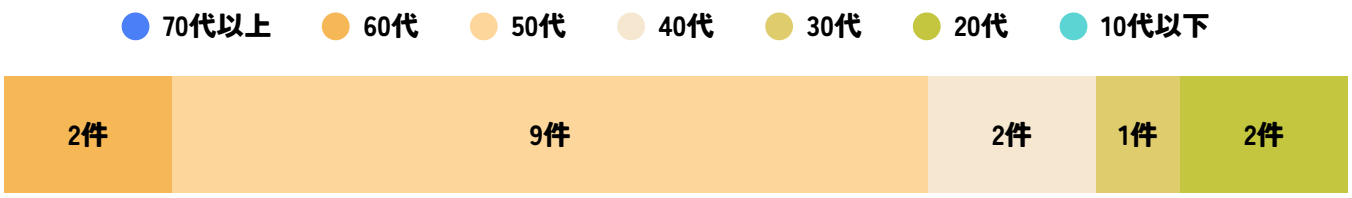
6 今回の開催を何で知りましたか。（複数選択可）



7 これまでに（仮称）デザイン会議に参加したことがありますか。（複数選択可）



8 年代を教えてください。



9 本日特に印象に残ったこと、共感したことがあれば教えてください。

- ビルアペゼの試みは興味がありました。
- 概念的な話がほとんどで、具体性に欠ける話合いだったと思う。見を出し合うことで新たなアイデアが出たりしたのがおもしろかったです。
- 二度傍聴させていただいたことがあります。どの部会も参加者のみなさんも職員の方々もいきいきと参加されていて、そういった地域の話し合いを目の当たりにしたのは実は初めてだったので心底感動しました。
- 部会のことを理解している前提の話が多いと感じました。「〇〇部では」という前置きなど。はじめて来てバタバタと紹介を聞いただけの人には理解が難しかったです。若い人が非常に少ないので少数派の肩身が狭い気分でした。現場の子どもの意見を踏まえてほしいという話題もありましたが、全世代的に参加しやすいしくみがあると良いと思います。会議の意見が具体的にどう区に届いて反映されるのか、分かりませんでした。今日聞いた限りでは、自助レベルのアイデアを出すだけの場所に見えました。
- ファシリテーターの年配女性陣の圧が怖くて参加しにくい印象が払拭できませんでした。全ての部会に賛同しています。ありがとうございます。もっと気軽に区民が参加できたらいいのに勿体ないなと思いました。
- ディスカッションはテンポ良くフロアからも多様な意見も出て盛り上がってたと思います。参加者は前回より少ない印象でした。この前からの成果が分かりにくかったかもしれません。今後はもっとデザイン会議それぞれの部会が実働チームとなってスピード上げて行政や企業巻き込んで社会実験や実践やらなきゃ、人々の意識も暮らしも環境も変化しないと思います。西荻駅前はマイロード開発工事もどんどん進んじゃうし焦った方がいいかも…など後からモヤモヤ考えてました。(例えばスキマ駐輪場。駅前店先道路と実験的に2-3箇所作って「路駐」？吉祥寺の取り組みに倣って神明通りや平和通り商店街車道を日曜午後から5時間くらい車禁止の「ピクニック通り」にしたら？)
- 1.会議の運営はとてもよく考えられていて、時間内に内容の濃い議論や意見交換ができて感心しました。少なくとも、初めての参加者には取組全体が俯瞰できて理解が深まりました。ありがとうございます。2.複数の広範な課題に取り組んでいて、横の連携や情報共有をする取り組み方法に賛同します。合意形成のために最大公約数、総花的な結論を追わないで、むしろ優先順位を決めて一つ一つの課題でより良い結論を追求していただけるとありがたいです。3.今回は具体的な話がありませんでしたが、（特に西荻南地区では）細い道の電線類の地中化を是非実現していただきたいと思います。細い道、道に近接する二階建て住宅、さらに張り巡らされた電線や電話線、ネットワークケーブルなどで視界が閉ざされ「空が無い街」になっています。少しずつでも良いから地中化を進めることを提案します。電柱がなくなると道幅が広く感じます。自動車の走行速度制限（20km/h）と合わせて、（児童も含めた）歩行や自転車運転が安心できると思います。4.さらに、老朽化して変色しているブロック塀を格子状のフェンスに更新することで、道路幅以上の開放感や、各戸の敷地内の緑を含めて景色を感じることができるのでは、と思います。
- 【大切にしたいこと】前述の通り、電線の地中化。電柱の撤去。老朽化したブロック塀を優先して、格子状フェンスへの更新（外構工事への補助金措置や条例による規制など）。以上、初参加の初参者なので少し論評風の感想もありますが、街を良くしようと真剣に取り組んでくださる皆さんに感謝します。提案しても、さらには実行のための予算措置確保や、さらには実現のための諸課題への対策など気が遠くなる取り組みだと思います。私も一歩踏み出す必要があると気付かされました。

アンケート結果

- 【共感したこと】行政と区民が連携した取組として本当に対話の区政を実践できていると思います。参加した部会メンバーの満足度はかなり高いと思います。【気になること】「デザイン会議の位置づけ」デザイン会議自体は任意の場（決算特別委員会で確認）。テーマ部会のメンバーの位置づけはどうなっているのか知りたい。デザイン会議自体多様な意見を集める場と思っているが現状テーマ部会の発表会がメインになっていないか。デザイン会議テーマ部会のメンバーの位置づけはどうなっているのか知りたい（任意の団体なのか）。議事録の公表が遅すぎるし部会メンバー以外何をやっているのか区民はわからない。議事録を読むと予算請求の話がよく出てくるが部会メンバーだけで予算請求の話を進めて良いのか知りたい。デザイン会議参加者の声は真摯に受け止めて欲しいがあくまで一部の声でありデザイン会議に参加しなかった区民の声を今後どう集めるか知りたい。パネル展示にスタッフがほとんど居なくて詳しく説明を聞けなかったのが残念。デザイン会議の参加メンバーに偏りはないのか知りたい。下井草まちづくりラボのように小学生から参加出来るような考え方は行政からも参加者からも今までなかったのか知りたい。多文化共生の観点が会議からあまり見えてこない。いつまでデザイン会議を続けるのか知りたい。誰がの便利は誰かの不便の考え方も検討してもらいたい。西荻以外でもまちづくりをしたい地域はある事は理解して欲しい（予算含めて）。職員の勤務体制による負担が心配（職員も大事な仲間）。【雨庭】デザイン会議のメンバーが美道路組に入ったのか美道路組のメンバーがデザイン会議に参加しているか知りたい。デザイン会議は任意の場だと認識しているが美道路組は任意団体だと認識　雨庭チームで美道路組に入ったいる人と入っていない人の比率を知りたい。雨庭の手入れは月何回やっているのか知りたい。【その他】すきなみフェスタの参加はまだ理解出来る（内容未定）がつながるグリーンインフラ参加は現区長の公約の広告塔と思われてしまう（予算含め）可能性がある事も念頭に入れて欲しい。前回のアンケート結果をデザイン会議のメンバーが参考にして今回のデザイン会議を行なったのか知りたい。
- 【その他要望等】他地域のデザイン会議との進行具合の格差解消（他地域も同じぐらい部会を開催して欲しい）デザイン会議よりもテーマ部会がメインになってしまっている。テーマ部会メインでは本来の多様化意見の民意の場にならないのではないか。今回の様なデザイン会議では部会メンバーの意見と違う意見は言いにくい。他の方も以前コメントしていたがまるで高校の文化祭の発表会の様な雰囲気だった。部会メンバーの意見が西荻地域の総意の様な感じに杉並区に受け取られないか不安。決算特別委員会の中で杉並区からデザイン会議のメンバーの中に町会商店会の方もいるとの答弁があったが会を代表して参加しているのか個人的に参加しているか知りたいデザイン会議のメンバーは最大何人まで増やせるのか知りたい。部会の活動は別の会議体にして欲しい（やっている活動はとても良い）全体会議の回数を増やし多様な意見を聞ける場にして欲しい。部会メンバーとその他区民の熱量の差が気になる（杉並区はその差を埋める施策を考えほしい）杉並区と部会メンバーとの役割距離感責任をもう少し明確化して欲しい。下井草まちづくりラボの様な運用をして欲しい。

- 【共感したこと】デザイン会議メンバーが数年に渡り活発な活動を行なっている事　歴代の担当部長及び課長沿道のまちデザイン係のみなさんが区民の意見を大切にしようとする思いいつも感謝しております。試行錯誤しながらデザイン会議をより良い物にしようとしていると感じています　他所管主催の意見交換会オープンハウスより開催時間が長い事が良い　今までの区作成の資料が読みやすい。今までの提供資料の紙の材質がとても良い。【気になること】デザイン会議のゴールがよくわからない。部会の内容がどんどん深く狭くなっていないか。多様な意見を聞くなら浅く広くも重要　デザイン会議がテーマ部会の発表会になっていないか。部会メンバーだけで社会実験等を進めて良いのか。雨庭作成の過程に疑問（デザイン会議メンバー以外の区民の声どれだけ聞いたか）テーマ部会議事録にも記載されていたが部会メンバーがアンケート等（個人情報等）の取り扱いについて理解しているのか不安。デザイン会議メンバーの位置づけをわかりやすくして欲しい(団体代表、一区民、スタッフ)。都合よく使い分けているに見られる事が残念。
- 【印象に残ったこと】ディスカッション会場の椅子の配置、参加者のマナーの良さ、傍聴区議の減少、ディスカッション会場での配布資料の減少、ディスカッション会場でのテーマ部会の活動報告発表の短さ、ディスカッションのテーマ「将来世代につなげたい道の空間を考えよう」と実際のディスカッション内容が噛み合ってなかった、区職員の対応はいつもながら良かった（質問にも専門用語を極力使わず分かりやすい説明をしてくれた。感謝）【総括】区の取組として他所管のモデル事業になる事を期待しております。一方令和8年度の予算特別委員会での質疑でもありましたがデザイン会議参加者以外の声をどう取り入れるのかが重要だと思います。多様化な意見の集約　社会実験の実施等デザイン会議の参加者以外の意見も取り入れるよう検討お願いします雨庭決定決定プロセスに不満や疑念を抱く区民もいる事も事実だと認識して下さい。デザイン会議参加者とその他地域住民の分断が起きない運営期待しております。

10 西荻窪で大切にしたいことや、今後取り組んでほしいことがあれば教えてください。

- 樹木、ベンチ、ゴミ箱は、人間らしい生活を送るための街作りの指標だったな、と各地でそれらがなくなってから感じています。西荻窪は、住まいと賑わいが両立する街として、これからも存続してほしいです。「人生急がなくても良いんだ。何で急いでたんだっけ？」と思い出させるような街になると嬉しいです。こういった行政の取り組みが、一部の熱心な人だけのもの、にならないような門戸の広い周知が進むとよいと思います。
- 人任せではなく、自分ごととして参加しないとだめ。
- 暑すぎる夏、木陰を歩ける道が続くまちにしたい。
- 西荻らしさは一度失われると取り戻せません。下北も駅前に大きな交通広場ができ、らしさを失いつつあります。今の西荻の魅力を見つめ直し、それをどうすれば将来に継承できるか、考えていただきたいところです。
- グリーンインフラと、樹木伐採についての危機感、樹冠被覆率に対する考え。
- 道路を基本とした考え方は、どうなのでしょう。その地域の道路に住んでいる人しか、参加できない雰囲気。もっと離れた地域の方も入りやすく、ためになる会議をして欲しいと思いました。
- マイロードの「すぎまる」停留所の混み合い具合が心配です。マイロードの再開発の詳細も心配です。チェーン店では西荻住民は安心できません。アトレが入るとウワサが囁かれていてガッカリしています。
- 【人道部会】公共車両優先システムに関する調査、レンタルサイクル等におけるヘルメット使用率に関する調査、小型バスと大型バス使用に関する調査、町会防災会商店会等地域コミュニティとの連携強化、公共施設との連携強化、防災関係に関する調査、水害対策に関する調査、エイトライナーとの連携に関する調査、民間任意団体との連携強化、ガードレールガードパイプに関する調査、他自治体の参考事例の提示、駅前広場に関する調査、多文化共生に関する調査、自転車専用レーンに関する調、障害者対応に関する更なる調査、防犯カメラ設置に関する調査、高齢者対応に関する更なる調査等。【まちづくり用地部会】防災対策、美道路組への参加促進活動、赤い椅子への更なる参加、町会及び区掲示板の更なる設置、電光掲示板の導入検討、プランター等を使用し花の道を作成、橋のデザイン募集等。【居場所づくり部会】行政の各所管ネットワークとの連携強化、民間ネットワークとの連携強化、荻窪中学校区における児童館整備に関する意見収集、荻窪中学校改築時における児童館との合築の可能性に関する意見収集、施設にとらわれない居場所（人と人とのふれあい）に関する調査研究。【ルールづくり部会】自治会町会加入についての調査、近隣商店会との連携強化、京王線の地区街づくり計画しもたかブック富士見ヶ丘駅周辺まちづくり方針等の更なる調査研究検証、プレミアム商品券実施店舗の調査及び検証、上井草駅まちづくり意見交換会との連携強化等。
- 【その他要望等】他の中央線エリアの様な駅前大型イベントの実施の検討、西荻朝市と連動した駅北側商店街のイベント実施の検討、大型店舗と個人商店の合同イベント実施の検討、区から補助金がもらえる様なイベントの実施、補助金使用時の申請方法事後処理の簡略化、駐輪場についての調査、小学校等と連携した通学路の認知度アップや防犯マップのアップデート、西荻地域喫煙所についての調査、西荻地域区民センター喫煙所整備についての調査（セシオン杉並や高井戸地域区民センターにはある）、区役所全庁舎移転候補地（素案?）にはらっぱ公園が唯一の候補地に上がったので調査研究。

- 【気になる事】西荻の現状を地域で理解する事から始めるべき。西荻らしさが今のままがいいのならこのまま街全体が過疎化する可能性がある。何を残し何を変えるのかを地域で考えるべき時西荻の街ににぎわいが必要なのか。【その他】タワーマンションが建築された際の影響についての研究。70年後を見据えた小中学校改築時の諸室について研究検証（合併　施設複合化　跡地活用　学区域）。物価高による予算削減も考えられるのですぐに行える事から何か始めるべき。こどもの居場所についての研究（青少年の居場所含む）。人生100年に向けての高齢者の居場所についての研究（こどもの居場所増加にくらべて充分な検討が行われてないと認識）。
- 【道路拡張等について】来年度のデザイン会議の計画をたてる前に地権者のみを集めた意見交換会を必ず行なうべき（デザイン会議メンバーからも要望がないのか知りたい）。測量反対の方々との丁寧な対話の実施（待ちの姿勢では問題の先延ばし）。車両を使う方々の意見も聞いてもらいたい。不動産売買に関する研究検証都市計画道路に関する更なる調査研究検証、都市計画道路の選定される前から住んでいる地権者の割合（この方々の意見はよく聞いてもらいたい）の確認土地収用法に関する研究、大型店舗と個人商店の比率調査や空き家政策に関する調査研究、区民が必要としている店舗の実態調査、空地エリアを使ってのキッチンカーやテント販売の実施、北側商店街の魅力とは何か再研究、古本屋やアンティーク店舗を中心とした中小店舗に対する具体的な支援施策の実施、西荻南口を中心とした飲み屋街に対する具体的な支援施策の実施、道交法に関する更なる啓蒙活動の実施（路駐や違法看板やテーブル設置等）。
- 【関根橋について】橋の架け替え等を含めた工事方法の検証、善福寺川関連工事と連携した工事の実施　街の象徴になるデザインにする。【関根文化公園について】東京都と連携した公園作り公園の代替地の確保（必ず確保）土嚢ストッカーの拡充。【環境グリーンインフラについて】道路拡幅工事の有無に関わらずできるグリーンインフラの早期実施、個人宅でできるグリーンインフラに関する情報提供の実施、商店街のリユース容器の普及活動、町会回収への参加増加。
- 【その他】テーマに沿った参加者の募集（今回のテーマであれば乳幼児親子や小学生、中高生との意見交換会）、テーマ部会ごとの発表会の開催（部会数が多く課題の深掘りが出来ない）、新たな西荻デザイン会議の発足（年代別　今までの参加者とは違うメンバー、障害者や外国籍の方々中心　等）、メンバーの固定化による弊害を取り除く努力。